

令和6年度 第3回 運営推進会議開催報告書

開催日時 令和6年9月18日(水)		
参 加 者		議 題
利用者	6名	(1) 入居者状況
利用者家族	2名	(2) 活動報告(7月、8月)
市職員	1名	(3) 今後の予定(9月、10月)
はたやま地域包括支援センター職員		(4) 苦情・事故・ヒヤリハット報告
	1名	(5) 身体拘束の適正化について
基幹型地域包括支援センター	1名	(6) ご意見・要望・提案・助言
南宝ヶ丘町町内会組長	1名	(7) その他
事業所	5名	
会 議 録		
<p><u>事業所の特色</u></p> <p>あかり理念「心で通じる共想いケア」</p> <p><u>私達は感謝の気持ちと相手を思いやる心で、共想いケアを実践します</u></p> <p>認知症の症状をもった入居者様がそれぞれの役割を発揮し共同生活を送ることに よって、安定した生活を送れるように支援することを目的としています。</p> <p>一人ひとりの生活リズムに合わせてその人らしさ、また持っている潜在能力を発揮 出来るように努め、共に歩むパートナーとして笑顔あふれる寄り添いのケアを目指しています。</p> <p>(1)入居者状況</p> <p>・入居者状況(入居者数・男女数・要介護度別人数・平均介護度数・平均年齢)</p> <p>8月31日現在 7名(男性:2名、女性5名)</p> <p>要介護度1:2名 要介護度2:1名 要介護度3:0名 要介護度4:4名、要介護度5:0名</p> <p>平均要介護度 2.9 平均年齢 84.8歳</p> <p>※7月29日 女性1名 陶生病院救急外来受診➡心筋梗塞の疑いで入院。 ➡8月5日早朝陶生病院にて逝去。</p> <p>(2) 活動報告(7月・8月)</p> <p>三浦内科クリニック往診 1回/月 7月24日(水) 8月23日(金)</p> <p>柵訪問看護ステーション訪問 1回/ (4回訪問/月) (内1回…訪問リハビリ)</p> <p>7月3日(水)、10日(水)、24日(水)</p> <p>18日(木) 訪問リハビリ</p> <p>8月7日(水)、14日(水)、28日(水)</p> <p>22日(木) 訪問リハビリ</p> <p>青木歯科往診 3回/月 (内1回…歯科衛生士)</p> <p>7月4日(木)、18日(木)、24日(水)歯科衛生士</p> <p>8月1日(木)、22日(木)、28日(水)歯科衛生士</p> <p>みゆきファーマシー 週1回 居宅療養管理指導、薬のセット管理</p>		

ハート治療院	週1～2回 希望者にマッサージ治療
訪問理美容	8月26日
運営推進会議	7月17日

行事

7月7日(日)	七夕会 (流しそうめん)
8月29日(木)	盆踊り大会

(3)今後の予定(9月・10月)

9月	敬老会・お誕生日会
10月	訪問理美容

(4)苦情・事故・ヒヤリハット

・苦情:0件

・事故:3件 7月中旬 左腕腫れ 市役所へ報告書提出済
7月下旬 車椅子全介助の女性。ベッド移乗時、スタッフが一瞬手を離した時、
前のめりになり転倒。
8月初旬 4時45分、ベッドから立ち上がり時、転倒。

・ヒヤリハット:2件

7月初旬 20時20分 夜勤者が他の入居者を対応中、
シルバーカー使用中の入居者様が自ら席を立ち歩いて
他の入居者様の居室に入りベッドで横になり寝ようとしていた。
8月下旬 Bトイレへ自ら歩いていき、キッチン前で尻もちをついていた。
(スタッフは、入居者の動きに気付いておらず背中を向いて、バイタル測定中だった。)

・事故報告書について質問 基幹型包括支援センターより

7月中旬に左腕が腫れた件、どのような内容ですか？

→骨折ではないが、手首をついた時にぶつけた状態？骨折ではないが骨が剥がれた。
高齢者福祉課へ事故報告書提出済。

(5)身体拘束適正化委員会

スピーチロックについて、深掘りして再認識する。

・市役所基幹型職員より

「スピーチロック」をはじめて聞いて知った。

何か言葉を発したことに対しご本人様が聞き、言われた時の気持ちを考えることも
大事かと思った。

・はたやま包括支援センターより

ケアをしている中で、利用者の生活の中での意志喪失などがでてきてしまう。

どうしても業務の流れの中で、可能性があるのは危険であることを職員が切実に感じていると思う。

それがどこまで利用者様がいる中でお一人ずつでケアを行っていく中で、

なくしながら、ついそのつもりではないが、自分の行動を優先しまう所がある。

少ない職員の人数の中で、身体拘束をなくしながら、利用者様優先でケアを行えばよいかと思う。

・南宝ヶ丘町 組長より

自分が思っていることを、命令されると嫌な気分になる。

・成年後見人様より

あかりへ訪問する度に、入居者様皆様、穏やかに生活されているので安心する。
普段から職員の皆さんが気を付けて対応しているからだと思う。

・利用者様より

「何もない」「気になったことがない。感じたことがない。」
「悪かったらその場で言う。」

・市役所 職員より

常、日頃、介護の現場で入居者様と接している中で、あたりまえになっている対応など見つめ直すいい機会になっている。
こういった言葉使いはダメなのかな…とか、何か代わりになる言葉はないのかな…とか考えるきっかけになるかと思っている。
「ちょっと待って」「動かないで」を別の言葉に言い換えてみるとよいかと思う。
「ちょっと待ってくださいね」「テレビをみて待って下さいね」
「新聞を読んで待ってね」等、利用者様の好きなものを伝えるとよいかと思う。

・管理者より

相手を見て、様子を見てから伝える。相手の反応の変化に気付くことも大事。
相手がどう感じているかが大事かと思う。

(6)ご意見、感想

・南宝ヶ丘町 組長さんより

初めて参加した。中の様子を見ることができてよい機会になった。
息子がケアマネジャーをしており、介護の仕事の話はよく聞いている。
週4回喫茶店へ行き、話をして交流していることが楽しい。
交流することの大切さを感じた。

・基幹型地域包括支援センター

あかり通信を拝見し、利用者の皆様が行事を楽しまれている姿を見れてよかった。
お一人様ずつの便りがあったりして、おひとりの高齢者の方の支援ができていてよかったと思った。

・はたやま包括支援センター

初めて参加した。皆様が困っていることがないとおっしゃっていて、いいケアをやっていると体感することができてよかった。
これからも元気で過ごして頂ければと思った。

・成年後見人様

やっと都合がつき参加することができてよかった。

・利用者家族より

段々と自分でできることが少なくなってきた。

職員の皆さんにお世話をかけている。

少しでも長くここで過ごすことができたらと思っている。

・管理者より

あかりでは普通のことをしている。普通にすることがあかりのモットーである。

利用者様それぞれの認知症の症状によってその人の持っているものも異なる。

客観してみることが大事かと思った。

今の戦前生まれの人は我慢してしまうところがある。

団塊世代の人はそういうわけにもいかない。

スタッフが認識をし、知識を得て、次のケアに

繋げていく為に準備が必要だと思っている。

※次回開催日時

令和6年11月20日(水) 14時～